

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和5年7月4日（火）		
開催場所	会議室・応接室		
(役職名) 出席者	岩松 玲子（横浜市立富岡中学校校長）金子 光則（氷取沢町内会長・上笹下連合自治会副会長） 鈴木 和枝（横浜市立さわの里小学校校長） 中村 文彦（関東学院大学調査役） 飯高 三友紀（本校PTA会長） 福元 摩湖（神奈川大学 事務局次長） 鈴木 健司（能見台1丁目自治会長）坪内 幸子（自校 校長） （欠席） 根本ゆう子（横浜市上笹下地域ケアプラザ所長） 田邊 実（上中里町内会長/上笹下連合自治会長）		
次回開催予定日	令和5年12月		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 藤岡 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@pen-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載 するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録 ・議事概要 	議事概要とした理由	
会議経過	（協議） ・令和5年度学校評価報告書（実施計画）について ・本校の取組・課題等について （委員からの主な質問及び意見） ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等、支援体制を補強する人材の必要性が高まっている。 ・コロナ対応の変更に伴い、他者との直接的な関わりが一層大切となる。体験を通じて課題解決する力を伸ばしてほしい。 ・地域の防災や高齢者の支援に高校生力を期待する。 令和5年度学校運営協議会組織及び学校設置部会について全会一致で承認。 令和5年度学校評価報告書（実施計画）について全会一致で承認。		
会議資料	令和5年度 学校要覧 資料1 委員名簿・組織 資料2 不祥事ゼロプログラム		

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

令和5年度 第1回学校運営協議会 《部会報告》

学校設置部会について次のとおり開催した。

部会名	学校評価部会	地域連携部会
開催日時	令和5年7月4日（火） 15時15分～16時00分	
開催場所	応接室	会議室
出席者 (役職名)	<ul style="list-style-type: none"> ・中村 文彦（関東学院大学調査役） ・福元 摩湖（神奈川大学 事務局次長） ・岩松 玲子（横浜市立富岡中学校長） ・飯高三友紀（横浜氷取沢高等学校PTA会長） ・坪内 幸子（自校校長） <p>学校関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤岡副校長 ・吉岡総括教諭 ・永井総括教諭 ・横井総括教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木 健司（能見台1丁目自治会長） ・金子 光則 (氷取沢町内会長・上笹下連合自治会副会長) <p>学校関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米澤教頭 ・内田総括教諭 ・金子総括教諭 ・治総括教諭 (欠席) ・田邊 実 (上中里町内会長/上笹下連合自治会長) ・根本ゆう子 (横浜市上笹下地域ケアプラザ所長) ・鈴木和枝（横浜市立さわの里小学校長）
協議内容 (委員会からの意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル教育研究推進指定校」として、グローバルの視点をどう捉えていくか。大学と連携した取組について協議した。 ・「授業改善」「指導と評価の一体化」の研究について、中学校と高校で連携したい。相互の授業見学の機会を設けたい。 ・大学の留学生との交流機会を継続したい。高校生が大学を知る機会の一助としてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響はまだ続いている。（小学校では）受入れが難しい状況である。 ・地域の清掃活動に高校生の参加を期待する。 ・高齢者施設では、高校生の力を期待したい。 ・地域とのつながりは、まず「挨拶」から考える。明るい挨拶が交わされるような雰囲気づくりを進めてほしい。
会議資料	特になし	特になし